

お財布にやさしい！

医療費節約術



その三

薬局に「お薬手帳」を持参すべし

過去6カ月以内に利用したお薬手帳を提示すると、処方せん1枚につき「薬剤服用歴管理指導料」が40円（3割負担の場合）安くなります。
初めて利用する薬局では安くなりませんので、かかりつけ薬局を1カ所に決めて、お薬手帳を持参しましょう。
※詳細は薬局にお尋ねください。

その四

「かかりつけ医」を持つべし

同じ症状で複数の医療機関を受診する“はしご受診”は、毎回の初診料や同じ検査、薬の重複により医療費がかさむだけでなく、体にも負担がかかります。はしご受診を避けるためには、信頼できるかかりつけ医を見つけておき、体調の変化や不安などを相談することが大切です。

月4回

例 はしご受診をすると…

初診料	
A 病院	2,820 円
B 病院	2,820 円
C 病院	2,820 円
D 病院	2,820 円
合計	11,280 円

※窓口での支払いは、上記の2～3割です。
※同じ病院でも前の受診から1カ月以上あいた場合など、初診料がかかることがあります。
※初・再診料のみで比較した例です。実際にはこのほかに検査料などがかります。

月4回

同じ病院なら

初診料・再診料	
A 病院	2,820 円
	720 円
	720 円
	720 円
合計	4,980 円

その差は倍以上！

その五

大きい病院へは、かかりつけ医の「紹介状」を持って行くべし

他院の紹介状なしで病床数200以上の大病院を受診すると、診察料とは別に「特別料金」が加算されます。大きい病院にかかる際は、かかりつけ医に紹介状を書いてもらい、持参するようにしましょう。

●初診にかかるお金 ※治療に関する費用は除く

<p>診療所など</p> <p>200床未満の病院</p>	<p>初診料</p> <p>2,820 円</p> <p>(自己負担3割の場合850円)</p>	<p>初診料だけで</p> <p>数千円の差額</p>	
<p>大病院</p> <p>200床以上の病院</p>	<p>初診料</p> <p>2,820 円</p> <p>(自己負担3割の場合850円)</p>	<p>紹介状がない場合</p> <p>選定療養費などの特別料金</p> <p>約5,000円</p> <p>(歯科は約3,000円)</p>	<p>全額自己負担</p>

その一

緊急時を除き、加算金がつかない時間に受診すべし

平日8～18時と土曜日8～12時以外の時間帯や日曜日・祝日は加算金があります。特に、6歳未満の乳幼児は高額な加算金となります。

加算金がある時間帯・曜日	加算金額			
	初診		再診	
	6歳未満	6歳以上	6歳未満	6歳以上
時間外 平日 概ね6～8時/18～22時 土曜日概ね6～8時/12～22時	2,000 円	850 円	1,350 円	650 円
休日	3,650 円	2,500 円	2,600 円	1,900 円
深夜 22時～翌6時	6,950 円	4,800 円	5,900 円	4,200 円

(※自己負担額は、上記の2～3割)

休日、夜間の病院に行くか迷ったとき…、調べることができます！

<p>子ども医療電話相談</p> <p>#8000</p> <p>子どもの病気、けがの対応について、小児科医師・看護師に電話で相談できます。お住まいの地域によって対応時間は異なります（主に19時以降対応）。</p>	<p>いつでもハローコール</p> <p>電話番号は、お配りした「HEALTH秋号」でご確認ください</p> <p>ミサワ健保の電話健康相談サービスです。24時間対応、年中無休です。</p>	<p>こどもの救急</p> <p>こどもの救急 検索</p> <p>診療時間外に病院を受診するかどうか、判断の目安を提供するサイトです。 (対象年齢:生後1カ月～6歳)</p>
---	---	--



子どもの医療費はタダじゃない！

子どもの医療費の多くは、自治体の助成によって自己負担がありませんが、それ以外の7～8割は皆さまの保険料から健保組合が負担しています。不要不急の時間外受診はお控えください。

その二

「ジェネリック医薬品」を使うべし

ジェネリック医薬品は新薬に比べ、最大8割以上安くなることがあります。

例

こんなに
おトクです

高血圧症 ロサルタンカリウム錠 50mg を1日1回1錠、3割負担の場合（年額）

新薬	12,045 円
ジェネリック	3,285 円

ジェネリックにかえると 8,760 円の節約！

0 3,000 6,000 9,000 12,000(円)

日本ジェネリック医薬品・バイオシミラー学会「かんじゃさんの薬箱」より算出（2018年4月）